

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画	
時期	2年A巡	単元	学科	教科名	シャシ整備1
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリンジーゼル自動車 シャシ編		発行日
総時限	15時限		シャシ構造 I		2023.4.1
必要時限	15時限			教科担当	吉田
指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。					
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） ①動力伝達装置の構造、機能を理解する。 ②動力伝達装置の整備、故障原因探求を理解する。					
授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか） ①プラネタリギヤ式のオートマチックトランスミッションの構成部品、名称、役割を覚える。 ②プラネタリギヤ式のオートマチックトランスミッションの構造、機能が理解出来る。 ③トルクコンバータ性能曲線の国家2級試験に拘る計算問題が出来る。 ④プラネタリギヤユニットの国家2級試験に拘る計算問題が出来る。 ⑤C V T式のオートマチックトランスミッションの構成部品、名称、役割を覚える。 ⑥C V T式のオートマチックトランスミッションの構造、作動が理解出来る。 ⑦差動制限型デフレンシャルの構造、機能が理解出来る。 ⑧インタアクスルデフレンシャルの構造、機能が理解出来る。 ⑨動力伝達装置に拘る点検、整備、故障探求が出来る。					
学習評価（期末試験での主な試験項目） 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2) 出題試験項目 ①プラネタリギヤ式オートマチックトランスミッションの構造、機能。 ②プラネタリギヤ式オートマチックトランスミッションに拘る工学計算問題。 ③C V T式オートマチックトランスミッションの構造、機能。 ④差動制限型デフレンシャルの構造、機能。					
準備学習 事前に一年A巡シャシ構造 I の内容を確認し、動力伝達装置の構成部品、構造、機能等について復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画	
時期	2年B巡	単元	学科	教科名	シャシ整備2
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリンジーゼル自動車 シャシ編		発行日
総時限	12時間				2023.4.1
必要時限	12時間			教科担当	吉田
指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。					
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
①アクスル及びサスペンション装置の概要、性能について理解する。 ②サスペンション装置の構造、機能、整備を理解する。 ③ステアリング装置の構造、機能、整備を理解する。 ④ホイールアライメントの構造、機能を理解する。 ⑤潤滑及び潤滑剤について理解する。					
授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
①アクスル及びサスペンション装置の概要、性能が理解出来る。 ②エアスプリング型サスペンションの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ③電子制御式サスペンションの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ④エアスプリングの整備が理解出来る。 ⑤ステアリング装置の概要、自動車の旋回性能が理解出来る。 ⑥油圧式パワーステアリングの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ⑦電動式パワーステアリングの構成部品、名称、役割を覚え、構造、機能が理解出来る。 ⑧パワーステアリング装置の整備が理解出来る。 ⑨ホイールアライメントに拘る要素、構造、機能が理解出来る。 ⑩潤滑及び潤滑剤について理解出来る。					
学習評価（期末試験での主な試験項目）					
1) 履修試験での学習評価 筆記試験100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。 2) 出題試験項目 ①アクスル及びサスペンションの構造、機能。 ②ステアリング装置の構造、機能。 ③ホイールアライメントの構造、機能。					
準備学習					
事前に一年B、C巡シャシ構造の内容を確認し、アクスル及びサスペンション、ステアリング装置及びホイールアライメントの構成部品、構造、機能等について復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					

